

成人科3/12	1	2	3
ぶどうの会3/14	1	3	4
野村港南台集会3/14	1	3	4
港南台集会3/15	1	8	9
入門講座3/16	4	9	13

—牧師室から—

戦後50年目にあたり、戦後問題が様々に議論されている。それは国会で「不戦決議」を出すか、出さないかに絡んでいるようだ。平和憲法に従った国作りをしていれば、今更「不戦決議」など必要ないだろう。しかし、最も発言してほしかった昭和天皇は戦争責任について一言も言及せず亡くなった。そして戦争責任と戦後補償が曖昧で、最近では国際貢献という美名のもとでPKO派遣は拡大し続けている。「不戦決議」推進派は戦争責任を表明し、平和を内外に訴えたい。そして、それが国際化の中で必要であるという認識がある。一方、「不戦決議」に強く反対する人々もいる。彼らは、

①15年戦争はアジアのヨーロッパ植民地支配からの解放であったという歴史観を主張している。そして、②謝罪表明は戦死者の死は「ムダ死」であったという認識につながり、それに耐えられないと言う。また、③謝罪は責任を伴うから、その補償の莫大さを恐れている。私は彼らの主張の根底に独り善がりな「大国」日本の傲慢を思う。

今日、戦争しても国家の利益とはならない。戦争を喜ぶのは兵器産業者だけで、誰もが反対で、平和を求めている。問題はどのようにして平和を築きあげていくかである。①の歴史観に対しては、関係した国々の歴史学者と共同の検証をすれば、事実が見えてこよう。②の「ムダ死」に対しては戦死者が平和の礎となった事実を継承することが彼らの死を生かすことであり、無残に虐殺されたアジア人を思えと言いたい。③の補償に対しては、軍事費を減らす、123億円もかける無意味な「平和記念館」などいらない。「不戦決議」という名称にはこだわらないが、平和宣言は時を得ている。

週 報

1995年3月19日 復活前第4主日

巻15 51号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧師 秋 吉 隆 雄